

2021(令和3)年度妙行寺活動方針

「安心できる拠り所であるための寺院を目指す」ために

1. 理 念

私たちは、親鸞聖人によってひらかれた浄土真宗の教えを拠り所としています。浄土真宗の教えは、あらゆる命をすくうと誓われた阿弥陀如来の願いを拠り所とし、南無阿弥陀仏のはたらきによって信心をめぐまれ、お念仏の人生を歩み、私が浄土で仏になる教えです。そして、浄土真宗の寺院は、浄土真宗の教えを聞く場であり、その教えを一人でも多くの方に伝える場でもあります。

同時に寺院は、その地域で生きる人々にとっての安心できる拠り所であればなりません。そのため寺院は、人々の悩みや思いを受け止め、互いに支えあう場として、多様化した現代社会に即応した組織や人々のつながりを、構築模索していかなければなりません。

今日の社会は、混迷の相を深めています。人々は真に拠り所となるものを見失い、人間中心・自己中心の考えをさらに強め、多くの問題を引き起こしています。このような時代の中でこそ、老病死に代表される人間の苦悩の解決にかかわる仏教は、人々の生きる拠り所となり、命といのちのあたたかいつながりを作るものです。

私たち妙行寺に集うものは、自分だけでなく一人でも多くの方にお念仏の教えを伝え、多くの方々と一緒にお念仏の人生を歩むための取り組みを進めます。

2. 目 標 「安心できる拠り所であるための寺院を目指す」

～つながる 集う 育つ～

3. 活動内容

- 1) 仏様の教えを聞き、教えを伝え、教えを広めるための活動
- 2) 門徒さんをはじめとする地域の皆様にとっての居場所になるための活動
- 3) 生活文化を創造していくための活動

4. 具体的な活動

- 1) 聞法の間としての寺院
 - ①聞法(教えを聞く)の機会を作り、参加を呼びかけます
 - ②仏教や仏事に関することを学べる機会を作ります(各講座の開催等)
 - ③教えを伝え広めるための広報活動に取り組みます(広報紙・パンフレット・SNS・ホームページ等)
- 2) 地域コミュニティとしての寺院
 - ①各種相談窓口を開設します
 - ②「まちの保健室」「様々なサロン活動」などの相談の場を設けます
 - ③コミュニティスペース等を整備し集いやすい場づくりを進めます
- 3) 生活文化を創造する拠点としての寺院
 - ①各種セミナーや集い等を開催します
 - ②各種専門業との連携を深めサポート体制づくりを目指します
 - ③関係者との連携のもと文化活動を進めます